



T-Lion Voice Home

T-Lion (The Triumphant Lion : ザ・トライアンファントライオン)
※Triumphant=「勝利を得た」「意気揚々とした」の意

第14号

- 2022年度 事業方針・事業計画
- 2022年度 公開講座情報

部活動地域移行化にともなう人材育成の必要性

間近で見ることを期待していた2020オリンピック・パラリンピック東京大会は、史上初の無観客大会となり会場で観戦することは叶いませんでしたが、多くの方々の支えにより成功に終わったことはいうまでもありません。

本来はオリンピックムーブメントの高まりと共に人々のスポーツ活動が盛んになると私自身考えておりました。しかしながら2019年末から始まった、新型コロナウイルス感染症のパンデミックは世界の人々の生活を制限し、特にスポーツへの影響は大きく、「スポーツを行うこと」、「スポーツを観に行くこと」が制限されました。筆者が顧問を務めている本学ダブルダッチ部への公演、指導の地域からのご依頼も2019年度は50件以上いただいておりますが、2020年度は0件でした。この件数が示すようにスポーツすることを楽しむどころか、人から直接教えてもらう機会を失い、全世代の競技者がいままで努力してきたことを発揮できる場さえも失うこととなりました。

また、我々は家の外にも自由に出ることができないという経験をしました。

このステイホーム期間には、体験型ゲーム機の売り切れが続出しました。子ども達だけがゲームを楽しんだのではなく、大人も体験型ゲームでカラダを動かしたいという欲求があったと思います。改めて、我々ヒトは動くことを欲する動物であることがわかりました。

ヒトのカラダの50%は、身体を動かすため、活動するための骨格筋で出来ています。筋肉を動かすことで、健康を維持するための様々な物質を骨格筋が分泌していることや、脳の働きを活性化させることなどの研究報告が出されており、生涯に亘ってカラダを動かすことは健康を維持する為には欠かせません。

本邦では中学校、高等学校の部活動が青少年のスポーツ活動・カラダを動かす喜びを知ることによって貢献してきたことはいうまでもありません。部活動は、学校教育の一環として、好ましい人間関係の構築を図り、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養というような学びの場をもたらしてただけではなく、世界に劣らない競技レベルを維持、向上する為にも日本のスポーツ界に貢献してきました。

2023年度からこの部活動指導は地域移行されていきます。まずは休日からということですが、世田谷区、青葉区からその指導者として本学学生への期待が大きいのではないかと思います。益々本学社会貢献推進機構の役割が重要になってくると考える次第です。

本学卒業後は教職に就いた者だけではなく、それ以外の職種についた者でも部活動指導ができるようになります。今後は更に本学在学・卒業生に寄せられる期待が大きくなると思います。そのためには、在学中の学生教育の中で地域スポーツへの貢献や部活動をはじめとするスポーツ指導に必要な知識や資格取得のためのカリキュラムやプログラムの内容を充実させていく必要があり、努力していきたいと考えています。



社会貢献推進機構 教育開発担当
体育学部 教授

小林 正利

日本体育大学地域スポーツコーディネーター(日体大CSC)資格制度がスタートしました！

日本体育大学地域スポーツコーディネーター資格は、本学のミッション・ヴィジョンに示されている社会貢献活動に参加する学生の質を担保する証として、指定した科目等を修得した学生に付与する本学独自の資格です。

2022年4月より、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部において、「運動部活動指導サポーター」を取得できるようになりました。「運動部活動指導サポーター」は、学校の運動部活動において、専門的な知識・技能等を有して指導・支援を行う人材です。今後は、カリキュラム改編に合わせて全学部に対応してまいります。

2022年度 事業方針・事業計画

地域社会連携本部会議において、次のとおり2022年度の事業方針・事業計画が策定されました。

事業方針

地域（東京都世田谷区、青葉区を中心とした横浜市）の課題及びニーズを全学で共通認識し、自治体や教育機関等との連携・協力のもと、実践力を備えた指導者の養成や、「する」「観る」「支える（育てる）」ための良好なスポーツ環境の構築、地域防災への協働・参画など、地域の課題等の解決や活性化に向けた各種取り組み・活動推進と充実を図る。

また、地域・社会貢献活動の活性化を図るため、研究で得られた知見を生かし、学内だけでなく、対外的にもその取り組みの認知度が高まるよう情報発信の方法を工夫し、活動内容の周知及び参加者の拡大を図っていく。

さらに、本学での学びを通して、実践的な資質・能力を獲得し、地域・社会において活躍できる人材の育成に努める。

将来的には、本学が有する校友会（同窓生、保護者等）組織と連携し、事業を全国的に展開するとともに、卒業生が活躍できる場の創出につなげることを目指す。

事業計画

本機構の事業方針のもと、2022推進事業を以下のとおり計画する。

1. 社会貢献活動の推進と充実を図る。

(1) スポーツプロモーション・オフィスの周知と活用の啓発

世田谷・健志台両キャンパスに設置したスポーツプロモーション・オフィスについて、学生や地域への周知方法を工夫し利用者の拡大を図るとともに、地域住民や行政機関等との連携をより強化していく。

(2) 全学生に向けたボランティア情報等の発信

教育機関や地域自治会等の外部団体から依頼されるボランティア案件やイベント情報を全学生に向けてn-pass、掲示等で情報を発信し、一層の人材バンクの登録促進を図る。

(3) 地域イベントへの積極的参加・協力

学友会団体による地域での社会貢献活動を推進する。参加可能な地域のイベント等には、感染症対策を十分に図り、地域の活動支援を行う。

(4) 地方自治体との連携強化への協力

学校法人日本体育大学が地方自治体と結ぶ「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づく連携事業への協力を行う。自治体からの団体の受入れ、教職員・学生の派遣、「自治体フォーラム」への参加等、自治体との連携をより強化し、地域の活性化を図ることで、幅広く地域社会に貢献する。

2. 本学での専門的な学びを通して、実践的な資質・能力を身に付け、地域・社会において活躍できる人材の育成を図る。

(1) CSC資格制度の確立

地域社会において即戦力となりうる人材育成のため、独自の包括的資格制度として創設した日体大CSC (Community Sport Coordinator) について、カリキュラム等の環境が整ったスポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部において、2022年度から「運動部活動指導サポーター」等の資格付与をスタートする。

(2) 教育課程と繋がる地域・学校でのボランティア活動の支援

教職センター及び学生支援センターと情報を共有し、各種実習等の受入れ先確保について支援を行う。

3. 研究機関と連携して地域の課題解決に繋がる実効性のあるプログラム開発に努める。

(1) 研究機関等と連携した取り組み促進と情報発信

総合スポーツ科学研究センター及び体育研究所と連携して、地域の課題やニーズの調査、関連する研究を継続的に推進するとともにその成果を発信し、広く地域社会に還元できるプログラムに繋げていく。また、地域住民を対象とした体力測定を引き続き実施し、ヘルスプロモーション等につながる取り組みとしてより創意工夫を図る。

4. 人的・物的資源を活かした公開講座等を実施する。

(1) 地域の課題解決に繋がる公開講座の実施

地域の体育・スポーツ課題の解決につながる実効性の高い取り組みや地域が期待するテーマに関する講座等を積極的に開催する。開催にあたっては、「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき、感染症対策をとり、形式も状況に応じて柔軟な対応ができる体制を整える。

(2) スポーツフェスタ等のイベントの開催

小学生向け体験型イベント「日体大スポーツフェスタ」を学友会と協力して開催する。運営は学生が主体となって取り組み、実践経験を積む機会をつくる。

5. SDGs、地域環境整備、地域の防災力向上への取り組みを推進する。

(1) 建学の精神を踏まえたSDGsへの取り組み

学校教育等で取り組みが進められているSDGsに関する協力や支援を積極的に行っていく。

(2) 地域における連携協定事業及び委託事業の継続

地域との連携協定事業及び委託事業を継続し、地域のスポーツ振興・推進の取り組みに引き続き参画していく。

(3) 地域の環境整備への協力

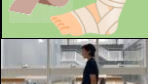
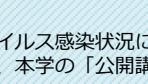
学友会やホームルーム、ゼミ活動を通じて積極的な情報発信等を行い、地域の環境整備への協力が全学的な取り組みとなるよう参加者の拡充を図る。

(4) 地域社会と連携した防災訓練等の実施

災害協力協定により継続して行っている事業（「防災訓練」「せたがや災害ボランティアマッチングコーディネーター養成講座」「世田谷区福祉避難所(母子)運営体制強化」）を継続し、地域の防災力向上に寄与する。

本事業の推進に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図るとともに、その感染状況等を踏まえた上で、関連する部署等との連携のもと、実施の可否の判断や開催方法等の在り方を検討するなどして事業を進めていく。

2022年度 公開講座等情報

場所	講座名		講師	日時等
世田谷	小学生の短距離走教室 スポーツ科学で早く走るコツを身に付ける		児童スポーツ教育学部 助教 鈴木 康介	①5/14(土) ②5/21(土) ③9/17(土) ④10/1(土) 10:00~11:30 各回20名 小学生 ¥500
世田谷	オリンピック選手が教える フェンシング体験教室 フェンシングの魅力学び、体験する		スポーツマネジメント学部 教授 依田 充代 五輪選手 桐谷 乃宇奈 徳南 堅太	①5/21(土) ②後学期 14:00~15:30 各回20名 小学生、中学生 ¥1,000
健志台	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会 最新情報の提供、最新機器を使用した講習		保健医療学部 准教授 鈴木 健介	①5/22(日) ②9/4(日) 10:00~11:30 各回50名 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500
世田谷	らくらくエアロビクス 楽しく心地よい全身運動		非常勤講師 三矢 八千代 大津 桂子 山口 圭子	①5/28(土) ②6/25(土) ③7/30(土) ④9/24(土) ⑤10/29(土) ⑥11/26(土) ⑦12/11(日) 10:30~12:00 各回25名 一般(中学生以上) 各回¥1,000
世田谷	トレーニングのすゝめ ①③有酸素運動 心拍数を指標としたランニング ②④筋トレの基礎 基本的な筋トレ方法		体育学部 准教授 菊池 直樹 菊池ゼミ学生(KIKULAB)	①5/28(土) ②6/25(土) ③④後学期 14:00~16:00 各回30名 一般、高校生 各回¥1,000
世田谷 健志台	高齢者の救急医療を考える ①横浜・健志台 ②東京・世田谷 現状と課題、備え等を6つのテーマ、講師で講演		保健医療学部 小川 理郎 中澤 真弓 成川 憲司 坂田 健吾 小倉 勝弘 原田 諭 三橋 正典	①6/11(土) ②12/11(日) 9:00~12:30 各回100名 一般、中学生、高校生 ¥1,000
世田谷	膝痛さようなら体操教室 膝痛の予防・改善を目的とした自宅でできる体操		保健医療学部 教授 伊藤 譲 柔道整復師 9名	6/19(日) 10:00~11:30 20名 一般 ¥1,000
世田谷	アスリートトークセッション 本学ゆかりの選手による座談会		体育学部 教授 杉田 正明 白井 健三 文田 健一郎 内藤 利貴 高橋 幸平	6/22(水) 18:30~20:00 200名 一般、中学生、高校生 ¥1,000
世田谷	ケガの予防トレーニングと 簡単テーピング講座 運動パフォーマンスサポート方法を学ぶ		保健医療学部 准教授 上倉 将太	7/2(土) 14:00~15:30 25名 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500
世田谷 オンライン	筋トレ塾 2ヶ月間、週2回の自重エクササイズ		体育学部 准教授 菊池 直樹 菊池ゼミ学生(KIKULAB)	7/19(火)~9/10(土) 事前・事後測定あり 毎週火・木曜日18:00~、毎週土曜日10:00~ 60名(オンライン40名、対面20名) 一般 無料
世田谷	スポーツデータ分析体験講座 Excelを使って自分の運動測定値を分析		体育学部 教授 大石 健二	8/6(土) 13:00~16:00 20名 中学生、高校生 ¥1,000
健志台	今こそチャンス! ゴールデンエイジの身体づくり ~足裏を刺激してバランス能力をUPしよう~		保健医療学部 教授 伊藤 譲 柔道整復師 9名	8/21(日) 11:00~12:30 20名 小学4年生~6年生 ¥500
健志台	災害時の対応講習会 災害図上訓練D I G 街の特徴や危険予測箇所を地図に書き込み街を知る		保健医療学部 准教授 鈴木 健介	9/4(日) 13:00~14:30 50名 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500
健志台	災害時の対応講習会 避難所運営HUG 避難所運営を模擬体験するカードゲーム		保健医療学部 准教授 鈴木 健介	9/4(日) 16:00~17:30 50名 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500
オンライン	健康・社会文化考シリーズ ①子どもの栄養と健康から縄文人の寿命や「祭り」の効能まで ②健康寿命の延伸に向けて		久保山 和彦 鴻崎 香里奈 松本 彰之 鹿野 晶子 田村 優樹 水嶋 崇一郎	①10月 ②12月(予定) 10:00~12:00 各回30名 一般、高校生 無料
世田谷 健志台	体力測定 ①横浜・健志台 ②東京・世田谷 身体を把握し日常生活に活かす測定		社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス	①11/4(金)・11/5(土)・11/6(日) ②11/12(土)・11/13(日) 一般(40歳以上、事前予約制) 無料
健志台	歩いて健康!元気に楽しく! 日体大ウォーキング キャンパス内を歩き、正しい姿勢と歩き方を指導		保健医療学部 教授 伊藤 譲 柔道整復師 9名	11/20(日) 11:00~12:30 20名 一般 ¥1,000
世田谷	今後の教育展望を探究する 最新の教育方法や教育行政等について講演		元国立教育政策研究所所長 元文部科学省高等教育局長 常盤 豊 スポーツ文化学部 教授 後藤彰	11月(予定) 14:00~17:00 100名 小・中・高等学校教育関係者 ¥1,000
世田谷 健志台	日体大スポーツフェスタ ①横浜・健志台 ②東京・世田谷 小学生を対象としたスポーツ体験教室		社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス	①12/10(土) ②12/24(土) 小学生 無料
健志台	腰痛さようなら体操教室 腰痛の予防・改善を目的とした自宅でできる体操		保健医療学部 教授 伊藤 譲 柔道整復師 9名	1/29(日) 10:00~11:30 20名 一般 ¥1,000
健志台	たのしくて安全なキャンプ講座 基本的な技術と正しい知識を学ぶ全3回の講座		スポーツマネジメント学部 助教 高荷 英久	①②③後学期 10:00~12:00 30名 一般、中学生、高校生 ¥1,000 小学生 ¥500
世田谷 オンライン	学術セミナー 本学の研究成果を公開		総合スポーツ科学研究センター 体育研究所 オリンピックスポーツ文化研究所 スポーツ危機管理研究所 教育企画センター 社会貢献推進機構スポーツ・マネジメント・オフィス	①第1回 競技力向上に役立つ「AI」・「VR」・「IoT」を進める「AI」 6/2(木)16:40~17:40 体育学部 准教授 大塚光雄 ②第2回 エキセントリック運動は面白い! 7/7(木)17:00~18:00 工学部 教授 野坂和則 ③~後学期

※詳細については変更が生じる可能性があります。

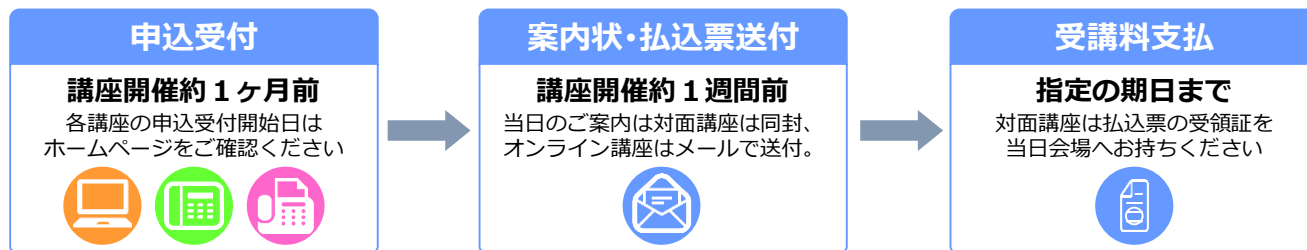
- 対面方式を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染状況によって、日程や開催方式(対面からオンライン)に変更が生じる可能性があります。対面で開講する講座については、本学の「公開講座等の実施に関するガイドライン」に基づき、感染対策を行います。
- 最新情報や詳細については、本学ホームページを随時更新しますのでご覧ください。

日体大公開講座



お申し込み方法について

お申し込みの流れ



お申し込み方法

※講座によりインターネットのみで受付となります。



インター
ネット

本学ホームページ> 大学案内> 公開講座から講座を選択し、必要事項を入力の上、お申し込みください。

日本体育大学HP

<https://www.nittai.ac.jp/>



TEL

①受講希望講座名 ②氏名 ③住所 ④連絡先電話番号 ⑤人数・団体名をお申し出ください。

注：団体でお申し込みの際は、後ほど名簿をご提出いただきます。

電話番号

03-5706-0911



FAX

①受講希望講座名 ②氏名、フリガナ ③住所 ④連絡先電話番号 ⑤人数・団体名を記載し送信してください。

注：団体でお申し込みの際は、②～④には代表者の情報を記載してください。併せて名簿を送信願います。

FAX番号

03-5706-0981

受講の注意事項

次の事項をあらかじめご了承の上、お申し込みください。

事前のお申し込みが必要です

特別なアナウンスのないものを除き、事前のお申し込みが必要です。お申し込みをせずに直接お越しになられても、受講はできません。申込受付開始は講座開催約1ヶ月前です。

申し込みは先着順です

予約受付期間であっても定員になり次第、締め切ります。FAXでお申し込みの場合、届いた時点で既に定員に達している場合は、受理できませんのでご注意願います。

事前のお支払いが必要です

講座開催約1週間前に案内状・払込票を送付いたします。必ず、指定の期日までにお支払いください。振込手数料はかかりません。入金がない場合、受講はできません。

キャンセル・返金

お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。健康上の理由ややむを得ない事情等がある場合を除きます。ただし、入金後の受講料の返金はいずれの場合においても対応できません。ご了承願います。

内容変更

実施時間は多少延長・短縮されることがあります。諸事情により、やむを得ず内容・講師・実施場所等が変更になる場合があります。

傷害保険の加入

運動教室については、本学にて参加者全員分傷害保険に加入いたします。但し、本学として責任を負いかねる場合もございますので、体の不調や異常を感じた時は参加を見合わせる等、各自の責任において健康管理に十分ご注意ください。

休講

事故、災害、講師の急病等により、やむを得ず休講とすることがあります。この場合は、決定次第本学ホームページに掲載いたします。ホームページをご覧いただけない場合は、お手数ですが電話にて、お問い合わせください。この場合、納入いただいた受講料は返金いたします。ただし、交通費・宿泊費等の補償はできません。

所持品の管理

学内での所持品の紛失盗難等につき、本学は一切責任を負い兼ねます。各自の責任において管理をお願いいたします。

撮影・録音・複写転載・二次活用

特別なアナウンスがない限り、参加者による録音・録画・写真撮影等はお断りします。また配布資料の内容については一切複製転載・二次活用を禁止します。本学スタッフによる広報目的での撮影が入ることがあります。

個人情報の保護

お申し込み等で取得した個人情報については、公開講座および本学研究活動以外で使用いたしません。なお、研究活動で使用する際は、個人が特定されない範囲での利用となります。

受講資格の取消

講師や他の受講生に迷惑となる行為、講座の進行を妨げるような行為、本学が講座の運営上不適当と判断する行為があった場合、受講資格を取り消すことがあります。

「T-Lion Voice Home」第14号（令和4年6月発行）

発行：日本体育大学社会貢献推進機構 スポーツプロモーション・オフィス

【東京・世田谷キャンパス】〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1

TEL：03-5706-0911(直通) FAX：03-5706-0981

【横浜・健志台キャンパス】〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL：045-507-1263(直通) FAX：045-507-4556

両キャンパス共通メールアドレス：shakaikouken@nittai.ac.jp

